

【はじめに】

土谷町長より、町民説明会の開会に際し
ご挨拶をいたしました。



現在の庁舎は、昭和35年に竣工し、
これまで修繕などを行なながら58年が経過しております。
建物の老朽化やバリアフリー機能の不足、
更には経済部や民生部の事務室の分散化による

町民サービスや行政効率の低下、そして、平成29年度に実施しました耐震診断において、
耐震基準を満たしていない結果となっているところです。

このような状況を受け、庁舎が抱える様々な課題を解決するため、新庁舎を建設することで決定し、
本年3月には、その基本構想を策定したところです。

新庁舎は、平成33年度から供用を開始することで準備を進めております。

基本構想では、新庁舎のコンセプトを「人と未来をつなぐ空間」と位置づけ、
「安心」「親しみ」「便利」の3本柱からなる方向性にとりまとめたところであります。

基本構想を基に、基本設計案の策定を進めて参りました。

町民会議での議論、議会特別委員会での議論、役場庁内での議論を重ね、
この度、基本設計案としてとりまとめましたので、本日は、その内容の説明と町民皆様のご意見を賜りたいと存じます。

基本設計におきましては、防災拠点機能を有した庁舎、環境に配慮した庁舎、そして
町民の皆様が利用しやすい庁舎を目指す内容となりました。

庁舎の規模につきましては、必要な機能など精査した結果、
基本構想では 4,500 m²前後を目途としておりましたが、結果 4,680 m²と若干増えております。
事業費につきましては、基本構想で目途としておりました30億円を目標に現在精査中であります。

新庁舎の建設にあたりましては、町民皆様のご理解とご協力が不可欠です。
本日は、基本設計案の内容についてお聞きいただきますとともに、
忌憚のないご意見を賜りたいことをお願い申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。